

# 平成13年度 決算を問う



## 総括質疑

### 決算特別委員会

決算特別委員会では、9月27日、30日、10月1日、2日の4日間にわたり、8人の議員が決算全般について、質疑を行いました。質疑の項目と主な内容をお知らせします。

- 高橋 ちあき(自民)
- 1 決算における行政の継続性及び区長の政治的立場について
  - 2 行財政5か年計画と基本構想について
  - 3 住民基本台帳ネットワークシステムの切断について
  - 4 中野の教育行政について
  - 5 その他

- 5か年計画について
- 2 所信表明と基本構想の改定について
  - 3 住民基本台帳ネットワークシステムについて
  - 4 さまざまな課題について
  - 5 その他

- 佐伯 利昭(自治)
- 1 区長の政治姿勢とこれからの中野区政のあり方について
  - 2 平和行政について
  - 3 都市整備について
  - 4 自転車のマナー啓発について
  - 5 教育問題について
  - 6 警察大学校等跡地問題の今後について
  - 7 その他

- 小沢 哲雄(共産)
- 1 田中区長の政治姿勢について
  - 2 2001年度決算について
  - 3 清掃事業のあり方について
  - 4 警察大学校等跡地土地利用転換計画について

- 近藤 正二(無所属)
- 1 税について
  - 2 基本構想についての区長の認識と考え方について
  - 3 その他

## 行財政

行政の継続性と政治的立場

高橋議員 平成13年度予算は前区長の責任で執行されたものだが、神山区政における財政運営をどう評価しているのか。田中区長は批判的継承者と受け止められているが、行政の継続性と区長交代による変化をどう考えているのか。

行財政5か年計画

大泉議員 行財政5か年計画で見込んでいた見直しは職員数の削減を除き、ほとんど終わるといって区長の発言には

同感だが、そうなる5か年計画は廃止するのか。次の10か年計画までに空白となる2年間のつなぎの計画を示すべきではないか。

答 行財政5か年計画は13・14年度では一定の成果を上げつつあるし、事務の見直しなどの考え方は継承しなければならぬ。しかし、今後の職員数の削減や施設の課題については具体的には未定であり、当初の財政的見通しのままでは19年度あたりからの大きな資金需要に対応できなくなるため、15・16年度での取り組みについては別に指針を作っていく。

行財政5か年計画と基本構想

高橋議員 行財政5か年計画をどう継承していくのか。基本構想は区長が変わるたびに改定するようなものではな

い。基本構想と行財政10か年計画との2層構造の計画体系は見直すべきではないか。

答 平成15年度以降の歳出削減策などについて、市民の立場での行政改革という考え方で進めていく。基本構想の改定については、基本理念と実現可能性を踏まえた10年後の中野の姿を描く基本構想とそれを実現するための10か年計画の2層構造とすることを行政内部で十分に検討した。基本構想

大泉議員 区長は基本構想の改定にあたってその概念を

答 現在の基本構想にはあすの中野の理想像があったが、計画のスパンがなかった新しい基本構想では10年間というスパンで達成可能な一定

の指標を明らかにしたものを中野の将来像とするものである。できるだけ広範な区民と区職員の参加を得て、協働しながら検討を進める会議体にと考え、要綱設置にした。しかし、法律的な可否、自治体運営の妥当性など、指摘を踏まえ、さらに検討したい。

佐伯議員 民間企業の経験者をさまざまに検討機関のメンバーに迎え入れ、その経営理念や手法を行政現場に適用する自治体が出てきた。中野区も基本構想改定にあたり区民会議を設置することだが、この構成メンバーに学者だけでなく民間企業経験者を加えて、これからの中野の将来像について、積極的な意見をもらってはどうか。

近藤議員 20数年前、区民と協働して策定した基本構想の5つの柱の理念や成果は今年

答 基本構想の改定は、いろいろな計画行政を行ってきた結果として現在の財政状況があることを踏まえて行なう。守るところは守り、反省すべきは反省して、区民みんなで議論して新しい中野の姿をつくっていく。

特別区税の収納

近藤議員 区税滞納分は、職員